

京都市立鏡山小学校 平成26年度 学校経営方針

学校教育目標 『自ら学び やさしく たくましい鏡山の子』～今やるべきことに全力で取り組む子～

目指す子ども像 自ら学ぶ子 目標を決め、努力する子
やさしい子 自分から笑顔であいさつする子
たくましい子 運動に親しむ子

目指す学校像 学ぶ意欲にあふれ規律ある学校
一人一人の子どもの持つ可能性を最大限伸ばす教育を推進する学校

目指す教職員像 其々の専門性を活かし、児童一人一人を大切にすることを具現化する教職員
授業を通して子どもの学力を最大限伸ばす教職員

平成26年度の研究主題 確かな読みを通して、自分の思いや考えを豊かに表現する子
～確かな学力定着を目指して～

指導の重点

- * 基礎基本の学力の定着
 - 国語 つけたい力を明確にした言語活動の充実
 - コミュニケーション能力の育成（児童が話す時間の確保）
 - 確かな「読む力」と「書く力」と「聞く力」と「話す力」の育成
 - 算数 確かな「計算力」と「思考力」の育成
- * 基本的な生活習慣の確立
 - 挨拶と返事，約束・きまりを守る，言葉遣い，当番・係活動・清掃指導の徹底（教職員の姿を通して指導する。） 家庭学習の定着，「早寝・早起き・朝ごはん」
- * 高い学級経営目標の設定（PDCAの拡大化），児童の意識変容の調査
体験の重視，自己肯定感・自己有用感の醸成

具体的な取組

- 学習指導
 - ①学校経営ならびに学年経営を基盤とする安定した規律ある学級経営
 - ②授業改善・授業力の向上
 - ③道徳的実践力の育成
 - ④特別活動の充実
 - ⑤課外活動の充実
- 生徒指導の迅速かつ的確な対応
- 協力指導体制の活用
- 家庭学習の充実と保護者連携
- 校内研究の充実（国語科を中心に）
- 人権教育・道徳教育の充実
- 総合育成支援教育の充実
- 生徒指導の組織的な取組
- 健康教育・安全教育の充実